



目次

- [改訂情報](#)
- [はじめに](#)
- [機能一覧](#)
- [システム要件](#)
- [検証済み環境](#)
- [制限事項](#)
- [保証規程](#)
- [著作権および特記事項](#)

改訂情報

変更年月日	変更内容
2018-04-01	初版
2018-05-31	第2版 下記を修正しました <ul style="list-style-type: none">「intra-mart Accel Platform のサーバ要件」で intra-mart Accel Platform に関するサーバ要件の記述を修正
2018-08-01	第3版 下記を修正しました <ul style="list-style-type: none">「検証済み環境」に「intra-mart Accel Platform 2018 Summer」を追記しました。「制限事項 : サポートするPDFファイルの制限 / PDF生成ソフト以外の注意事項」で「サポートするPDFファイルの範囲.pdf」の文書プロパティをクリアしました。「システム要件」から Windows Server 2008 R2 を削除しました。

目次

- [本書の目的](#)
- [製品の利用対象](#)

本書の目的

本書では IM-PDFDirectPrint for Accel Platform のリリース内容について記載しています。

製品の利用対象

次の利用を対象としています。

- IM-PDFDirectPrint for Accel Platform を利用したアプリケーション開発

目次

- [はじめに](#)
- [呼び出し方法一覧](#)

はじめに

IM-PDFDirectPrint for Accel Platform は、サーバ上でPDFファイルを直接印刷する機能を提供します。

PDFファイルを開かずに、サーバに接続されたプリンタにプログラムから直接印刷が可能です。部数、縮尺、用紙サイズ、プリンタ等を指定して一括印刷が可能です。

IM-PDFDesigner for Accel Platform、IM-PDFAutoConverter for Accel Platform、IM-PDFCoordinator for Accel Platform と連携してご利用いただけます。特殊な要望につきましても、カスタマイズ等に対応できる場合があります。お気軽に営業までお問合せください。また、V7.x 以下のバージョンで機能を利用したい場合にも個別にご相談ください。

Windows以外のサーバ上で利用する場合、サーバではなくクライアント側に接続されたプリンタに出力したい場合には、個別に営業までお問い合わせください。

本製品をインストールするサーバのOSのロケールは以下に対応しています。

- 日本語

以下、本製品の機能一覧を列挙します。

各機能の仕様や設定方法に関しては、各マニュアルまたはセットアップガイド等を参照してください。

機能一覧

No.	機能	説明
1	PDFファイルの直接印刷機能	サーバに接続されたプリンタにPDFファイルを直接出力します。
2	PDFファイル（セキュリティ付）の直接印刷機能	サーバに接続されたプリンタにPDFファイル（セキュリティ付）を直接出力します（制限事項参照）。
3	印刷オプション	用紙の中央指定 / 部単位での印刷 / 印刷部数の指定 / PDFファイルを画像に変換してから印刷 / 用紙の向きを設定 / 用紙サイズ設定 / プリンタ指定 / 印刷ページ範囲指定 / 縮尺指定 など...

呼び出し方法一覧

IM-PDFDirectPrint for Accel Platform は、以下の呼び出しが可能です。

— IM-PDFDirectPrint for Accel Platform 2018 Spring リリースノート 第3版 2018-08-01
性能を重視する場合には各APサーバにインストールする構成を、APサーバがLinuxの場合/費用を重視する場合にはリモート呼び出し（REST）の構成を選択ください。

機能	直接印刷機能
JavaEE開発モデル	<input type="radio"/>
スクリプト開発モデル	<input type="radio"/> （スクリプト機能からJavaのAPIを呼び出します）
リモート呼び出し(REST)	<input type="radio"/>

目次

- [intra-mart Accel Platform のサーバ要件](#)
 - [バージョンと連携エンジンの整合性確認表](#)
- [IM-PDFDirectPrint for Accel Platform 要件](#)
- [ライセンス要件](#)

当バージョンにおけるシステム要件は次の通りです。

intra-mart Accel Platform のサーバ要件

- intra-mart Accel Platform 2013 Spring – 2018 Summer (Standard Edition、Advanced Edition、Enterprise Edition)
利用する intra-mart Accel Platform のサーバ要件に準拠します。(Red Hat Enterprise Linux を除く)



注意

IM-PDFDirectPrint for Accel Platform は intra-mart Accel Platform のサーバ要件のオペレーティングシステムにおいて Red Hat Enterprise Linux 6、Red Hat Enterprise Linux 7、Red Hat Enterprise Linux 7.1 には対応していません。

バージョンと連携エンジンの整合性確認表

本製品は連携するライブラリのインストールが必要です。
対応しているバージョンは以下になりますので、正しい組み合わせでご使用ください。

アップデートバージョン	連携ライブラリバージョン
2015 Winter (8.0.4)	ysspdfpr1.0.0
2016 (8.0.5) Summer	ysspdfpr1.0.2
2016 Winter (8.0.6)	ysspdfpr1.0.2
2017 Spring (8.0.7)	ysspdfpr1.0.3
2017 (8.0.8) Summer	ysspdfpr1.0.3
2017 Winter (8.0.9)	ysspdfpr1.0.3.2
2018 Spring (8.0.10)	ysspdfpr1.0.3.2

APサーバ側は、IM-PDFDirectPrint for Accel Platform のサーバ要件に準拠します。

IM-PDFDirectPrint for Accel Platform では、各APサーバにインストールする構成と、印刷用のリモートサーバにインストールする構成の2つが選択できます。

リモートサーバにインストールする場合には、APサーバとは別に印刷処理用のサーバが必要となります。

印刷処理サーバとしては以下が必要となります。

- WindowsServer2012 / WindowsServer2012 R2
- WindowsServer2016

コラム

APサーバがLinuxの場合には、個別に営業までお問合せください。

コラム

環境によって印刷結果に差異がでることを防ぐため、印刷対象のPDFファイルにはフォントを埋め込んでください。

ライセンス要件

- 本番マシン / 試験マシン / 開発マシン毎に環境を分けたい場合、各環境ごとにライセンスのご購入が必要となります。
- IM-PDFDirectPrint for Accel Platform は、スタンドアローン環境（各APサーバに印刷エンジンをインストールする構成）/分散構成（APサーバとは別に印刷専用のサーバを構築する場合）のいずれかでご利用いただけます。分散環境で利用する場合には、インストール数分（APサーバ分もしくは分散サーバの台数分）のライセンスが必要となります。
- ライセンス購入価格については、intra-mart特約店にお問い合わせください。
- 年間保守契約に加入しているユーザは、製品に関する問い合わせおよび、製品のバージョンアップを受けることができます。詳細は営業までお問い合わせください。

- 以下、弊社動作検証済みの組み合わせとなります。

PDF処理サーバ 環境

intra-mart Accel Platform	WEBアプリ ケーション サーバ		RESTサーバ (分散環境の 場合)	
	Resin	Java	Tomcat	Java
intra-mart Accel Platform 2013 Summer	Resin 4.0.35	JDK 1.7.0_79	Tomcat 7.0.61	JDK 1.7.0_79
intra-mart Accel Platform 2015 Spring	Resin 4.0.43	JDK 1.8.0_20	Tomcat 8.0.21	JDK 1.8.0_31
intra-mart Accel Platform 2016 Winter	Resin 4.0.49	JDK 1.8.0_20	Tomcat 8.0.21	JDK 1.8.0_31
intra-mart Accel Platform 2017 Spring	Resin 4.0.49	JDK 1.8.0_20	Tomcat 8.0.21	JDK 1.8.0_31
intra-mart Accel Platform 2018 Spring	Resin 4.0.53	JDK 1.8.0_20	Tomcat 8.0.21	JDK 1.8.0_31
intra-mart Accel Platform 2018 Summer	Resin 4.0.56	JDK 1.8.0_171	Tomcat 8.0.21	JDK 1.8.0_171
intra-mart Accel Platform 2018 Summer	Payara 5.182	JDK 1.8.0_171	Tomcat 8.0.21	JDK 1.8.0_171

目次

- 共通の制限事項
- サポートするPDFファイルの制限
- PDF生成ソフト以外の注意事項
- PDFファイルにフォントを埋め込む際の注意点
 - 原因
 - 対応策
 - 注意点

共通の制限事項

- PDFファイルにフォントが埋め込まれておらず、該当フォントが IM-PDFDirectPrint for Accel Platform の稼働するマシン上に存在しない場合、代替フォントにて印刷されます。印刷環境によって印刷結果に差異がでることを防ぐため、印刷対象のPDFファイルにはフォントを埋め込むことを推奨いたします。
- 高負荷が予想されるシステムでは、システム構成を含めた検討が重要になります。システムからの大量印刷が要件に含まれる場合には、事前に営業までご相談ください。
- プリンタは物理プリンタを想定しています。仮想プリンタへの印刷を検討されている場合は、別途営業までお問合せください。
- Linux、UNIX での利用については、個別に営業までお問い合わせください。
- クライアント側に接続されたプリンタに直接印刷する場合には、個別に営業までお問い合わせください。
- 印刷対象PDFファイルの 注釈・フォーム・しおり・リンク・署名等は印刷されません。このため、ファイルの見た目が変わる可能性があります。これらの情報が必要な場合は、印刷して再度PDFを作成してください。
- 利用環境のJDKは必ずは統一してください。バージョン、ビット数の異なるJDKを利用した運用はサポート対象外です。
- IM-PDFDirectPrint for Accel Platform は、動作に管理者権限 (Administrator) が必須です。
- ウイルスソフトによっては、ウイルスチェック時にファイルを掴むものがあります。PDF処理に影響がでる場合は、作業フォルダをウイルスチェックの対象から外す必要があります。
- IM-PDFCoordinator for Accel Platform / IM-PDFAutoConverter for Accel Platform / IM-PDFDirectPrint for Accel Platform を同一サーバ上で同居させる場合には、環境変数 PATH の設定順序を、
 1. IM-PDFCoordinator for Accel Platform
 2. IM-PDFAutoConverter for Accel Platform
 3. IM-PDFDirectPrint for Accel Platform

— IM-PDFDirectPrint for Accel Platform 2018 Spring リリースノート 第3版 2018-08-01

- とする必要があります。上記の順番で設定がされていない場合、エラーとなります。* プリンタ/プリンタドライバの性能によっては、正しく印刷できない（データの欠落/用紙サイズの設定が反映されない）可能性があります。必ず事前に実際に使用する予定のプリンタでテストを行ってください。正常に出力できない場合は、プリンタメーカー様に問い合わせをして頂く必要がある場合があります。* プリントスプールは1つずつ動作するため、1つのプリンタで処理は並列には行われません、同時に処理要求をした場合にも、当社製品側では1処理順次処理に変換します。大規模な印刷を行う場合には、印刷サーバを複数台設置するなど、特別な対応が必要です。
- その他の制限事項については、IM-PDFDirectPrint for Accel Platform のマニュアルをご覧ください。
- その他最新の技術情報は、intra-mart Developer Support Site を御参照ください。
- 円マークとバックスラッシュなど、同じ文字コードであって利用フォントによって字形が異なる文字があります。適切なフォントを利用してください。
- <http://www.intra-mart.jp/developer/index.html>

サポートするPDFファイルの制限

事前にご評価頂ければ、一般的なPDFファイルはほとんど問題がないことはご理解頂けると思えますが、安定した運用を考えますとPDFファイルを生成するソフトを制限することをお勧めします。以下は当社がバージョンアップ等を常にウォッチして動作確認をしているPDFファイルの範囲です。ご確認をお願い致します。

下記以外のPDFファイルでも、別途有償にてサポート可能な場合があります。個別に営業までご相談ください。

- **サポートするPDFファイルの範囲.pdf**

PDF生成ソフト以外の注意事項

以下のケースはサポート対象外です。

- PDFファイルにオープンパスワードが付与されており、オープンパスワードがわからない場合
- PDFファイルにセキュリティパスワードが付与されており、セキュリティパスワードがわからない場合
- PDFファイルに電子署名が付与されている場合
- PDFファイルのポートフォリオ機能が利用されている場合

上記以外の制限については、必ず事前に以下のドキュメントを確認ください。

- **サポートするPDFファイルの範囲.pdf**

PDFファイルにフォントを埋め込む際の注意点

PDFファイルにフォントが埋め込まれていないと、PDFファイルの見た目が崩れる可能性があります。

原因

製品のデフォルトの設定においては、PDFファイル内部では、フォント名・フォントサイズなどのデータが格納されており、フォントファイル自体は存在していません。

通常PDF ファイルを表示する場合、フォント名・フォントサイズなどのデータを閲覧する機器内のフォントファイルを利用し表示されています。

AdobeReader の場合は該当フォントが端末上に存在しない場合はそのフォントに近い代替フォントを表示させる機能(すべてのフォントの代替はしない)があります。

PC やモバイル端末においては同じフォントが存在しない場合があります (特に利用頻度が高い Microsoft系のフォントは、通常は Windows にしか入っておりません)。

PDF ファイルを表示した場合、フォントの幅等が違うものが参照され、対象ドキュメントの表示が崩れた状態となります。

対応策

フォント埋め込み済みのPDFファイルの場合、参照フォント情報はPDFファイル内のものから対応し、正確な表示となります。

モバイル端末でPDF ファイルを表示させる場合は、必ずフォントの埋め込み処理を行い、表示の崩れを防いでください。

フォント埋め込みの設定方法については、各製品のマニュアルを参照ください (一部の製品はフォント埋め込みに対応していません。詳細は営業までお問合せください。)

注意点

PDF にフォントを埋め込む場合、参照フォント領域がPDF に追加される為、出力されるPDF ファイルのサイズが大きくなります。

これはPDF ファイルの仕様となります。

どれくらいファイルサイズが大きくなるのかに関しては、実際のファイルにて事前にご確認ください。

保証規程

目次

- 保証内容及び対象
- 保証の適用除外
- 免責
- その他の契約との関係

保証内容及び対象

この保証規程（以下、「本書」という。）並びに貴社が当社と締結した一切の契約が定める要件（システム要件を含むがそれに限らない。）

及び制限事項の範囲内にて貴社が本製品を利用することを条件として、当社は貴社に対し、本製品に同封され、又は当社ホームページ（<http://www.intra-mart.jp/document/library/?product=pdf-directprint>）に掲載されているマニュアルの最新版のとおり本製品が動作することを保証します。

なお、当該保証は、貴社における内部的使用を目的とする限りにおいて適用されるものです。また、当該保証は、当社の一方的な裁量により、無償で交換若しくは修補、又はかかる本製品の対価としてイントラマートが貴社から受領した金額の返金のいずれかの方法によるものとします。

上記の対応は、正規の当社製品を購入され、適法かつ誤りなくユーザー登録を完了されたお客様のみに行うもので、当社はその他の対応又は保証、特に本製品をインストールしたハードウェア、接続製品、及びそれらに保存されたソフトウェア、データ等の保証（但し、これらに限られない。）は一切行いません。

保証の適用除外

下記の場合は動作保証が適用されません。

- 貴社が、本書又は貴社が当社と締結した一切の契約に定める要件（システム要件を含むがそれに限らない。）
その他の制限事項の定める範囲内にて本製品を利用しなかった場合
- 火災、地震、水害、落雷、ガス害、塩害およびその他の天災地変、公害等の外部的事情による誤動作の場合
- 合理的な使用方法に反するご利用に起因する場合
- 貴社あるいは第三者が改変・変更等及びそれらの作業を行ったことに起因する場合
- 本製品以外のソフトウェア、ハードウェア等との互換性の問題から生じる場合

免責

本製品に関する当社の損害賠償責任は、理由のいかんを問わず、

本製品の「ソフトウェア使用許諾契約書」に定める責任の限定の範囲内といたします。

その他の契約との関係

本製品の保証に関して、貴社が当社と締結した一切の契約と本書の間に齟齬がある場合には、本書の記載が優先するものとします。

著作権および特記事項

intra-mart は株式会社 NTT データ イントラマートの登録商標です。

Oracle と Javaは、Oracle Corporation 及びその子会社、関連会社の米国及びその他の国における登録商標です。

文中の社名、商品名等は各社の商標または登録商標である場合があります。

他の会社名、製品名およびサービス名などはそれぞれ各社の商標または登録商標です。

本製品を使用する場合は、本製品に含まれる各ソフトウェアのライセンスについても同意したものとします。

以上